

日本初の金兌換銀行券
甲10円券 1899年

此券引換二金貨拾圓
相渡可申候也

金兌換券の製造

Gold Convertible Notes

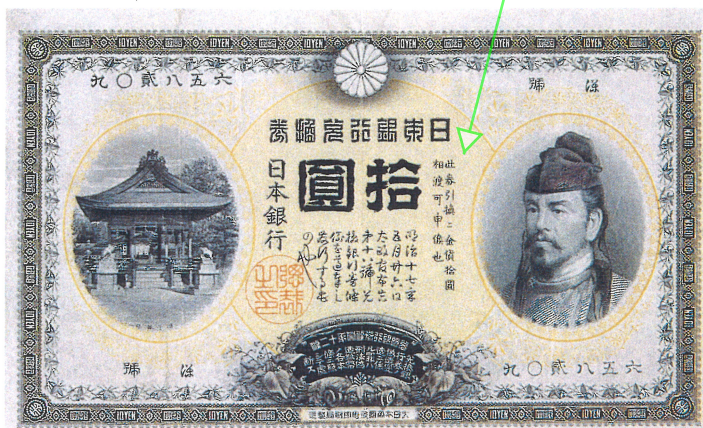
19世紀後半になると、銀の生産量が著しく増加したため、西欧諸国があいついで銀本位制を離脱し、金本位制を採用したことにより、銀の価値が低下し、銀本位制を採用していた日本は、経済面で不利となった。そのため、日本も先進各国に習って、明治30年に貨幣法を制定し、金本位制に移行した。これに伴って新しい金貨が発行されるとともに、明治32年には初めて金貨と兌換できる甲5円の日本銀行兌換券が発行された。

By the latter half of the 19th Century, almost all European countries had left the Silver Standard System and adopted the Gold Standard System. Japan, too, adopted the Gold Standard System and enacted the Coinage Law in 1897. The first gold convertible note was issued in 1899.



貨幣法の制定に伴って発行された金貨
明治30年発行 10円金貨 (直径21mm)
1円は金0.75gに相当した。
Gold 10-yen coin issued under the
Gold Coinage Law of 1897
One yen equaled 0.75g of pure gold.

10円金貨 ~ コレクション
22p 189



日本銀行兌換券 甲10円券 明治32年 (95×159mm)

金兌換券からお札の表面に、肖像の人物と関連した神社を描くことになった。10円券には和気清麻呂の肖像と、彼を祀る京都の護王神社の拝殿が描かれた。

Bank of Japan gold convertible note, or kou-series 10-yen, 1899

From the kou-series, the shrine in which the portrayed figure was enshrined was included in the design.



甲10円券の裏面 (95×159mm)

裏面には中央に走るイノシシが大きく描かれていたため、一般に「イノシシ札」と呼ばれ人々に愛用された。

The reverse side of a kou-series 10-yen note

People called this the "wild boar note" because there was a big, wild boar in its center.



最初金兌換券 甲5円券 明治32年 (85×146mm)

金兌換制度に移行して最初に発行された銀行券で、中央に武内宿禰の肖像を描き、背景には彼を祀る鳥取県の宇部神社の光景が描かれている。

The first gold convertible note: kou-series 5-yen note, 1899

Takenouchino Sukune was placed in the center of this note with Ube Shrine behind him.

日本初の兌換銀行券は 兌換銀券だった 1885年

此券引換爾銀貨拾圓
相渡可申候也

日本銀行兌換銀券(大黒札)の製造

The First Bank of Japan Convertible
Note, or Daikokusatsu

明治政府は、明治初期や西南戦争の際に乱発された政府紙幣などによる通貨インフレを抑えるために、財政緊縮政策を採り、また政府紙幣や国立銀行紙幣を整理するために、明治15年に日本銀行を創設した。日本銀行は銀と兌換できる日本銀行券を発行することになり、明治18年(1885)から「大黒天」を描いた日本銀行兌換銀券が発行された。このお札は「みつまた」の用紙を用い、当時写真術で複製できないように水色のインキで印刷された。

In order to control inflation caused by the excessive issuance of inconvertible paper money to finance the Seinan Civil War, the government decided to establish the Bank of Japan as a modern central bank issuing only convertible bank notes.

From 1885, the Bank started to issue new convertible bank notes with an engraved figure of Daikokuten, the god of harvest, in pale blue.

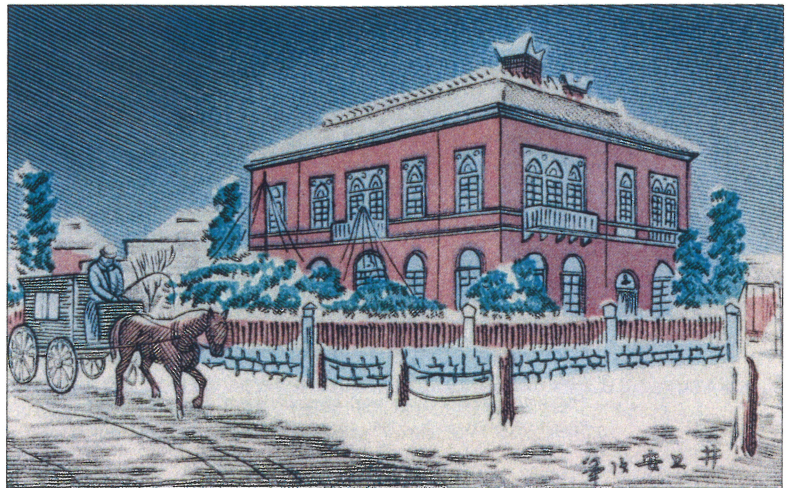
日本銀行兌換銀券 1円券 明治18年
(78×135mm)

銀貨と兌換できる信用のある銀行券であることを示すために、中央に1円銀貨の図を描いているほか、日本語と英語により兌換文言を印刷している。

Silver convertible note: 1-yen, 1885



日本銀行兌換銀券 5円券 明治19年 (87×152mm)
4券種の大黒札の中で、この5円券だけが裏面に大黒天を描いている。
Silver convertible note: 5-yen, 1886
Daikokuten was featured on the reverse side.



創業当時の日本銀行 木版画「永代橋際・日本銀行の雪」(井上安治・画) 日本銀行は、貨幣制度の統一と兌換制度の確立などのために設立された。

A snow-covered Bank of Japan near Eitaibashi, by Yasuji Inoue

日本銀行兌換銀券 10円券
明治18年 (93×156mm)
当時の複写技術では淡い水色のインキによる図柄は複製できなかったため、キョッソーネによって彫刻された大黒天像は水色で印刷された。

Silver convertible note:
10-yen, 1885
Daikokuten was printed in
faint blue to prevent
copying.



日本銀行兌換券発行当時の1円銀貨 (直径 39mm)
紙幣の多発により紙幣と銀貨の価格差が大きかったが、財政緊縮政策により明治18年頃にはほぼ同価値となり、銀行券が発行された。
Silver 1-yen coin, 1885